

# 山口 茜さん (バドミントン)

## 応援レポート

### ダイハツ・ヨネックス ジャパンオープン2017

2017年9月21日(木)22日(金)東京体育館

#### メダリストが集うスーパーシリーズ。 世界ランキング2位の山口さんの目標は、4年ぶりの優勝

ジャパンオープンは世界最高ランクの大会。山口さんは4年前最年少の16歳でチャンピオンとなり話題をさらっ

た。昨年はベスト4。今年もリオ五輪メダリストがずらりと参戦する中で、目標はもちろん優勝だ。

いまや世界ランキング2位にまで成長した山口さん、シード2位で9月20日からのトーナメント本戦に登場した。



初戦と2回戦は、共に韓国選手と対戦。相手にゲームを譲ってしまう局面もあったが、順当にポイントを重ね勝利した



#### ●バドミントンの基礎知識●

試合は3ゲームマッチで行われ、先に2ゲームを先取したほうが勝ち。ファーストゲーム(第1ゲーム)、セカンドゲーム(第2ゲーム)と進め、1対1になった場合は、ファイナルゲーム(第3ゲーム)が行われる。1ゲームは21点で、先に21点取ったほうが勝ち。ただし、20対20になった場合は、延長ゲームとなり、2点差がついた時点で終了。

## 準々決勝でリオ五輪金メダリストと対戦。 今回は悔しいストレート負け

9月21日の準々決勝はリオ五輪で金メダルに輝いたスペインのキャロリーナ・マリン選手。今までの対戦成績は4勝4敗、どちらが勝ってもおかしくないビッグゲームだ。

緊張の空気に包まれて試合が始まる。お互いにコースを狙ったスマッシュやネットぎわのショットなど、多彩な攻撃を繰り広げる。よくそんなの反応できるなあ、というせめぎ合いだ。

1点ずつ点を重ねていき、第1ゲームはまさに五分五分だったが山口さんが最後にポイントを連続で取られ、ゲームを譲ってしまう。第2ゲームも10-10まで互角の試合。お互いが前後左右のシャトルをびっくりするくらいよく拾い、観客からはため息が漏れるほど。半ばを過ぎて、山口さんが連続してポイントを奪われてしまう。マリン選手のシャトルに追いつくの

だが、勢いに押されて打ち損じているように見える。20-15でマッチポイントを握られ、最後まで山口さんはシャトルを追った、でも返せなかった。

悔しそうな山口さん。今回の結果はベスト8に終わり「日本でのスーパーシリーズ優勝をもう一度」は来年のお楽しみとなった。山口さん、すごい試合でした。お疲れ様でした！



マリン選手は身長172cm。山口さんは156cm。  
試合中はその差が気にならない



最後のポイントも諦めず追いかけた。  
次は必ず手が届きます！

